

太宰府中学校2学年だより

No.4

R3.5.10

1年ぶりの体育祭に向けて②



長いようで短かったゴールデンウィークも終わりました。今年は、観光地や旅行に行けない「がまん」の休日ばかりだったことだと思いますが、疲れはとれましたか。

さて、先週末から体育祭練習が再開されました。

残念なことに、7日に新型コロナウイルスの緊急事態宣言が福岡県にも発令され、今後学校生活にも影響をおよぼすかもしれません。それでも、誰もが「安心・安全に学校生活を送りたい」「1年ぶりに行われる学校行事を無事に迎えたい」気持ちを持っていると思います。

見えないウイルスから身を守るのは大変なことですが、これまで同様「手洗い・マスク・検温」を欠かさずに励行していきましょう。

このような状況の中、学校生活で窮屈な思いをしているのは、私たちだけではありません。先日、このような新聞記事を見ました。皆さんと同じ13歳の投稿です。読んでどう感じましたか。

朝日新聞 4月26日 投稿記事

皆さんをはじめ全国の、いや世界中の13歳は、きっと同じ思いを描いていると思います。過去を戻すことはできませんが、未来は描くことができます。1年生の学年通信で伝えた「パンドラの箱の希望」を捨てずに、「今から・これから」に目を向けて、お互いの健康に気をつけあいながら、1つずつ素敵な思い出をつくってほしいと思います。

★「グループトレーニング」を行いました。

新しい学級でよりよい仲間づくりができるように、先月の総合の時間に「グループトレーニング」を行いました。(ちょっと日がたちました、すみません)

グループトレーニングとは「エンカウンター」とも呼ばれ、与えられた課題を解決するためにお互いの思いや考えを出し合ったり、伝え合ったりして取り組むエクササイズです。

今回は、「人間コピー」というエクササイズを行いました。これは、教室の外に掲示してある絵を見にいき、グループの仲間に伝え合い、話し合って同じような絵を完成させるものです。

どの学級も、「イルカが浮き輪をつけていた」「ひまわりの花びらは○枚だった」「ちがう、こうじゃない」「それぞれ、もうちょっと大きく描いて」とあちこちで一生懸命伝え合う姿が見られ、楽しんで活動していました。

エクササイズ終了後は、グループごとの絵を提示して、皆で鑑賞しました。

「すごい、そっくり」「なかなかユニーク」「元の絵にないものが描かれている・・・」といった温かい笑いにつつまれた鑑賞会でした。

下は、ある学級の「元の絵」と「伝え合った絵」です。かなり「コピー」できていますね。

元の絵

伝え合った絵

最後に、「どうしたらもっとよくなりましたか」という質問に対して、皆さんは次のような考えをあげていました。

- もっと身振りや手振りを加えて伝えればよかったです。
- もう少し話し合えばよかった。
- 何かに例えて伝えればもっとにた絵ができたかなと思います。
- 自分が言いたいことを相手にわかってもらえるって本当に難しいと感じました。
- 語彙力と読解力を高める。
- 描かれている物の大きさを正確に伝える。
- オノマトペだけでなく、具体的に説明できればよかった。

このエクササイズを通して、皆さんは2つのことを学びました。

ひとつは、相手に伝える難しさ、もう一つは、わかりやすく伝えるスキル(やり方)です。

大人でも「物事を伝える」ことは難しいものです。相手の様子を想像しながら、自分の気持ちをわかりやすく伝えるスキルは、たくさんの経験と失敗を身につけて高めることができます。

今、毎朝ブロックリーダーがその日の体育祭練習の内容を伝えています。日に日に「伝える力」が身につけています。そして、リーダーの話聞くフォロワーも真剣に聞いています。

体育祭が終わる頃、先輩として何回り大きく成長しているのでしょうか。楽しみです。